

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
栃木県	栃木市	静和	平成28年度	平成30年度	栃木市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1	省略	経営コスト縮減	米麦については肥料・農薬の高騰、肥育については飼料・素牛の高騰と、原材料費の高騰により、経費縮減を図ることができなかった。	全体的な経費縮減を図りつつ、肥育牛の出荷時期を早めるなど頭数調整を図りながら、近年度中の達成を目指す。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営コスト縮減	米麦については肥料・農薬の高騰、肥育については飼料・素牛の高騰と、原材料費の高騰により、経費縮減を図ることができなかった。	全体的な経費縮減を図りつつ、肥育牛の出荷時期を早めるなど頭数調整を図りながら、近年度中の達成を目指す。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

1 担い手への農地利用集積について 本地区は、担い手への農地利用集積が進んでいる地区であることから、更に農地中間管理機構の活用等により促進する。 2 必要となる中心経営体の育成について 本地区の中には重点支援地域(曲ヶ島集落)があり、今回の経営体(1法人)を含め2経営体で取り組んでいる。また、本地区は37経営体による計画であり、今後、集落座談会等により中心経営体の育成・確保をおこなっていく。 3 人・農地プランの作成・見直し等について 本地区及び他の地区も含め、集落座談会等によりプランの見直し等を図っていく。 4 未達成者の対応等その他 未達成者に対するフォローアップを引き続き実施し、次年度に目標が達成するように、地区関係者等と協力・助言等を図っていく。

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。